

TREE seminar

12月20日(木) 17:00~18:00

朱太川水系における 魚類の保全と再生に向けた基礎的知見

理学部5号館2階 **5207教室**

講演者：**宮崎 佑介** *Miyazaki Yusuke*

所属：東京大学大学院農学生命科学研究科
生圏システム学専攻 保全生態学研究室
博士課程3年

要旨

朱太川水系は、北海道渡島半島北部の黒松内低地帯を北流する二級河川である。黒松内低地帯は、陸生動植物の分布境界線の一つとして知られる。朱太川水系の河口域を除く流域のほぼ全体をカバーする黒松内町は、全国の他の町村に先駆けて、生物多様性地域戦略を2012年3月に策定し、その魚類相の保全と再生も重要な課題の一つとして取り上げている。

生物多様性の保全や再生の効果的な実施にあたっては、対象地の生物多様性に関する客観的な情報を入手し、事業の必要性やその指針を検討することが望ましい。

今回のセミナーでは、朱太川水系の魚類相をモデルケースとして、

- 1) 対象地を自然分布域とする種の把握、
- 2) 現状評価、
- 3) 過去から現在にかけての変遷、
- 4) これらの結果にもとづき設定されるべき将来予測、

の4点に関して保全生態学的観点から示し、自然再生事業を進める上で重要な基礎的な知見の提示を行った事例を紹介する。

このような生物多様性の保全や再生を進める上での科学的なアプローチは、他の流域においても地域住民の合意が得られれば実行可能な過程であり、生物分類群や対象地域を問わない手続きであると考えられる。

セミナー終了後に懇親会もごさいます。そちらにも是非ご参加ください。